

平成29年度 第7回下野市教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 平成29年10月19日(木) 午後1時30分～午後3時25分
- 2 場 所 下野市役所3階 教育委員会室
- 3 出席委員 委員長 永山伸一
職務代理者 三橋明美
委員 熊田裕子
委員 石嶋和夫
教育長 池澤 勤
- 4 出席職員 教育次長 坪山 仁
教育総務課長 小谷野 雅美
学校教育課長 海老原 忠
生涯学習文化課長 近藤 善昭
文化財課長 山口 耕一
スポーツ振興課長 北條 均
教育総務課課長補佐 伊澤 仁一
教育総務課主幹 古橋 栄一
教育総務課副主幹 荻原 孝裕
- 5 傍聴人 なし
- 6 議 案
議案第39号 平成30年度小・中学校職員定期異動における下野市の重点目標について
- 7 報告事項
 - (1) 教育委員会後援等の承認について
 - (2) 寄附の受け入れについて
 - (3) 平成29年度中学校新人大会の主な結果報告について
 - (4) 平成29年度学校教育サポートセンター上半期事業報告について
 - (5) 下野市の歴史文化を活用した観光振興事業計画について
 - (6) 第12回下野市民体育祭運動会(石橋地区・国分寺地区)及び第9回南河内スポーツフェスティバルの結果報告について
- 8 その他
 - (1) 自治医科大学公開講座の実施結果について
 - (2) 中学生議会だよりについて
 - (3) 甲塚古墳出土遺物重要文化財指定記念シンポジウムについて
 - (4) 大松山運動公園陸上競技場・管理棟整備工事起工式について

永山委員長	<p>委員長挨拶</p> <p>議事録署名委員の指名 永山委員長及び熊田委員</p> <p>第6回教育委員会定例会議について、議事録の確認をお願いする。訂正等があれば発言を求める。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>議事録はこのとおり承認とする。</p> <p>次に、教育長の報告を求める。</p>
池澤教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月30日に国分寺西小学校の運動会、小中学校音楽祭、グリムの森フェスティバル、エゴマ灯明の会が行われた。 ・ 10月6日に市内16小中学校の前期終業式、10月10日に後期始業式が行われた。 ・ 10月8日に下野市民体育祭運動会(国分寺地区・石橋地区)及び南河内地区スポーツフェスティバルが実施された。 ・ 10月10日の緑小を皮切りに11月17日まで児童表彰式が順次実施される。今年度の表彰対象児童は、550名となる。 ・ 市長のいきいきタウントークが、10月12日にきらら館、13日に薬師寺コミュニティセンター、14日にゆうゆう館で行われた。教育委員会からは、小中一貫教育と学校運営協議会について報告させていただいた。 ・ 10月14日にしもつけ市民芸術文化祭オープニングイベントが国分寺公民館にて行われ、3地区の会場ごとに10月29日まで開催される予定である。 ・ 10月17日、18日に文化財課、スポーツ振興課、教育総務課の実施事業について、文部科学省の会計実地検査が行われ、無事終了した。
永山委員長	<p>何か質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>議事に入る旨を伝える。</p> <p>議案第39号「平成30年度小・中学校職員定期異動における下野市の重点目標について」説明を求める。</p>
海老原学校教育課長	<p>【説明要旨】</p> <p>平成30年度小・中学校職員定期異動における下野市の重点目標については、栃木県教育委員会及び下都賀地区市町教育委員会から示された「定期異動方針」並びに「異動方針の運用」に基づき、6つの重点目標(案)を設定させていただいた。</p> <p>以下、本市の6つの重点目標(案)について説明を行う。</p> <p>項目については、大きな変更点はないが、目標3の「学校規模、地域環境等、学校の特性を考慮した、教職員配置に配慮する」について一部変更させていただいた。項目の冒頭に「学校規模」という文言が入っているが小規模校が増えてきている現状であり、小規模校に限らず学校の状況に応じて配慮しなければならないことを踏まえ、昨年度まで入れていた「特に小規模校における配慮」の部分を削除させていただいた。他の項目は昨年と同様の内容</p>

<p>永山委員長</p>	<p>になっている。</p> <p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>このとおり決定してよろしいか。(全委員承認)</p> <p>議案第39号は原案どおり決定する。</p> <p>続いて、報告事項に移ることを告げる。</p> <p>(1) 教育委員会後援等の承認について説明を求める。</p>
<p>小谷野教育総務課長</p>	<p>【説明要旨】</p> <p>「下野市教育委員会後援等承認一覧」に基づき、10月現在で2件の承認をした旨の報告を行う。2件とも後援で前年度実績がある団体である。</p> <p>以下、承認をした行事内容等について説明を行う。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて、(2) 寄附の受け入れについて説明を求める。</p>
<p>小谷野教育総務課長</p>	<p>【説明要旨】</p> <p>株式会社フレンドから車イス1台の寄贈があり、文化財課で受入を行い、薬師寺歴史館で使用する旨の報告を行う。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。</p> <p>車イスの価格相場はどれくらいなのか。</p>
<p>小谷野教育総務課長</p>	<p>3万円位で買えるものもあるが、素材や機能によっては高額になるものもある。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>他に質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて、(3) 平成29年度中学校新人大会の主な結果報告について説明を求める。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>【説明要旨】</p> <p>「平成29年度中学校栃木県新人体育大会の主な成績一覧表」に基づき、学校毎の上位戦績について説明を行う。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて、(4) 平成29年度学校教育サポートセンター上半期事業報告について説明を求める。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>【説明要旨】</p> <p>「平成29年度学校教育サポートセンター上半期事業報告」に基づき、教育相談活動と適応支援活動について事業報告を行う。</p> <p>上半期における相談ケース数は83件であり、昨年度からの継続が28件、新規が55件となっている。小学校低学年に相談件数が多く、学年があがるにつれて相談件数が減少していく傾向がみられるので、低学年からのフォローによって保護者の安心を得られていると考えている。</p> <p>また、相談主訴の傾向は、発達に関すること、年長児の就学に関すること、不登校・行き渋りの順に多くなっており、全体の約9割を占めている。</p> <p>相談ケース数83件に対し、相談件数415件となっていることから、1つのケースについての相談回数が増えている傾向にある。不登校についての相談を続けていくと、発達の問題につながっている事例が多くみられる。</p>

	<p>学校別ケース数や相談総数をみると、国分寺小、国分寺中、薬師寺小が多いが、利用率をみると突出して多いものではない。</p> <p>続いて、適応指導教室（スマイル教室）の運営状況については、9月現在、16名の生徒が在籍している。利用者の約8割は在籍校またはスマイル教室に登校できており、学校との連携や保護者と密な連絡が取れている状況である。</p> <p>近年では、スマイル教室に登校できても、個室での対応を希望する場合が増えてきている。</p> <p>なお、在籍校やスマイル教室にも足を運ばない生徒については、学校と連絡を取りつつ、相談員が家庭訪問を行っている。なかなか難しい状況ではあるが、関係が途切れないう対応しているところである。</p> <p>また、心理士の配置についても、昨年度と比較して勤務を月2日間増やしたため、検査実施数が増加し、専門的な立場からの支援が充実してきている。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。</p>
石嶋委員	<p>適応指導教室において個室を望む生徒等は、サポートセンターやかかりつけ病院の心理士によるサポートは受けられているのか。</p>
海老原学校教育課長	<p>学校との連携を取っているので、状況把握はできているが、心理士が個別に対応する時間はなかなか取れない状況である。</p>
石嶋委員	<p>心理士は、診断はできないが、見取りによるサポートができるだけでも次の手立てが講じられるので、とても重要な役割を担っている。</p>
海老原学校教育課長	<p>資料の備考欄にある「関係機関との連携」に記載のある子は、専門的な対応ができているが、空欄の子は、直接スマイル教室に通級しているので、相談できていない状況にある。</p>
熊田委員	<p>不登校についての相談を続けていく中で、発達問題につながる事例が多くみられるとの報告であったが、つきつめていくと、主訴がグレーゾーンだった子が発達の段階でつまづいているといったケースが多いということか。</p>
海老原学校教育課長	<p>ご指摘の通りである。</p>
熊田委員	<p>5歳児検診における問診では、引っかからなかった子どもが多いのか。</p>
海老原学校教育課長	<p>そこまで詳細には把握はできていない。保護者のみが相談にきている場合、実態が分からずに、実際に様子を確認すると、発達のな問題がみられるような状況がある場合がある。</p>
熊田委員	<p>このようなケースは、5歳児検診の段階でうまく連携が取れば良いと思う。</p>
永山委員長	<p>続いて、(5)下野市の歴史文化を活用した観光振興事業計画について説明を求める。</p>
山口文化財課長	<p>【説明要旨】</p> <p>「歴史文化基本構想」を策定した自治体のうち14自治体が、文化庁の「歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業」（文化芸術振興費補助金）の対象として9月に交付決定を受けた。</p> <p>関東では、下野市と伊勢原市（神奈川県）が平成29年度から3ヶ年の事</p>

<p>永山委員長 熊田委員 山口文化財課長</p>	<p>業として採択され、予算額は約1,200万円を予定している。 平成29年度の事業計画について、詳細に説明を行う。 (1) 情報発信事業 CGによる古墳巡りアプリの導入 (2) 人材育成事業 ガイド養成講座の実施 (3) 普及啓発事業 文化財トレーディングカード(古墳カード)作成等 質疑等あるか。 古墳カードの作成とあったが、全国同一の仕様なのか。 基本的には大きさは同じである。単なるカードと、QRコードを読み込むことによって新たな情報が引き出せるという違いはある。事業実施に当たっては、多言語化を行うこととなっているので、そういうところも含めて、QRコードを付けて情報発信できればと考えている。</p>
<p>三橋委員</p>	<p>この事業により人材育成が図られ、市内全域の観光ガイドができるようになったり、子どもから子どもへガイドできるようになれば素晴らしいと思う。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>続いて、(6)第12回下野市民体育祭運動会(石橋地区・国分寺地区)及び第9回南河内スポーツフェスティバルの結果報告について説明を求める。</p>
<p>北條スポーツ振興課長</p>	<p>【説明要旨】 10月8日に実施した石橋地区・国分寺地区市民体育祭運動会及び南河内スポーツフェスティバルにおける参加自治会、参加人数、順位等を資料に基づき報告を行う。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。 南河内地区スポーツフェスティバルでは参加人数が増えているので、良い傾向だと思う。</p>
<p>北條スポーツ振興課長</p>	<p>昨年は、天候不順により野球等の参加が少なかったが、今年は天候にも恵まれ、参加者増となった。また、新たにキンボールを導入したところが増加につながった。</p>
<p>三橋委員</p>	<p>キンボールは、大変盛り上がったと伺っている。小中学生が参加できる種目という意味で大変素晴らしいことだと思う。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>次に、その他に移ることを告げる。 (1)自治医科大学公開講座の実施結果について説明を求める。</p>
<p>近藤生涯学習文化課長</p>	<p>【説明要旨】 当該資料に基づき、受講状況及び公開講座アンケート集計結果等について報告を行う。 参加者数は、5日間で延べ1,775名であり、昨年と比較すると約600名の減少となっている。アンケート結果は、約半数が下野市在住の方であり、受講回数が2回以上のリピーターが多かった。また、講座については、大学からの案内で知った方が多かった。</p>
<p>永山委員長 熊田委員</p>	<p>次年度の開催にむけて、大学側と新規受講者の獲得のためにPRに努めていきたい。 質疑等はあるか。 昨年度と比べて参加者数が減ったのは、申込者自体少なかったのか。</p>

近藤生涯学習文化課長	今年度の申込者は561名、昨年度は683名であったので、約120名減少した。
永山委員長	今後ともPR等工夫し、参加者獲得に努めていただきたい。
坪山次長	続いて、(2)中学生議会だよりについて説明を求める。 【説明要旨】 8月19日に開催した中学生議会について、平成29年度中学生議会一般質問通告一覧表及び下野市青少年育成市民会議発行の広報紙「美蕾」特別号を基に質問内容と答弁内容、教育長講評について説明を行う。
永山委員長	市の未来を担う中学生が議会を体験することで、自治基本条例に掲げている子どものまちづくりへの参加を促し、中学生の視点から政策提言を行う機会を設けることを目的として実施した。今回の中学生議会は、模擬議会ではないため、一般の議会と同様に答弁した内容については実施していくことになる。
池澤教育長	質疑等はあるか。 質問の質が高く、素晴らしい試みだと思う。模擬でないところにも驚いた。
永山委員長	9月中旬より各中学校において、平日の放課後に空き教室や図書館等の学校施設を利用して学習を行っており、特に中学3年生には好評を得ている。
石嶋委員	「中学生が集い話し合える場を望む」という要望については、中学生の要求を精査し、他の施設がどのような利用ができるのかを継続的に考えていくのがよいと思う。
熊田委員	保護者の意見として、もう少し議論の場があると良かったとあるように、本来の議会のやり方とは異なるが、逆に市長から中学生に質問をし、生徒自身が考えて答えるようなものがあればもっと理解が深まると思う。
永山委員長	本当の議会として行ったことが素晴らしいと思う。中学生も自分たちが質問したことで、市が動いたという感覚が得られたのではないかと聞いているので、今後とも続けていっていただきたい。
三橋委員	18歳選挙権のことを考えれば、こういった議会の力で、市民の意見が上がり、それにより行政が動き、それがまたフィードバックするという仕組みを身をもって知るという素晴らしい機会であったと思う。
山口文化財課長	中学生が多岐にわたり地元の未来のことを考えているのだと改めて思い、中学生の活力が感じられた。
永山委員長	続いて、(3)甲塚古墳出土遺物重要文化財指定記念シンポジウムについて説明を求める。
永山委員長	【説明要旨】 甲塚古墳出土遺物については、3月に国の重要文化財指定の内示を受け、9月15日の官報告示をもって登録が完了した。これを記念してPRを含めシンポジウムを開催する旨の説明を行う。
石嶋委員	質疑等はあるか。 先着150名となっているが、余裕はあるのか。

山口文化財課長	会場である聖武館を改修したので、若干の余裕はある。委員の皆様には是非申込みいただきたい。
永山委員長	続いて、（４）大松山運動公園陸上競技場・管理棟整備工事起工式について説明を求める。
北條スポーツ振興課長	<p>【説明要旨】</p> <p>大松山運動公園陸上競技場・管理棟整備工事が着工の運びとなり、11月19日に起工式、安全祈願祭を建設予定地にて開催する旨の説明を行う。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>以上で全ての案件が終了となるが、委員の皆さんから他に報告等があれば 願います。（特になし）</p> <p>事務局より報告等があれば願います。（特になし）</p>
	<p>次回の教育委員会は11月16日（木）の午後1時30分の予定とする。 本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後3時25分閉会。</p>